

連合福島「ジェンダー平等推進フォーラム 2025」開催！

★2025 春季生活闘争におけるジェンダー平等・多様性の推進★

連合福島ジェンダー平等推進フォーラム2025は、12月7日（土）15時～郡山市の郡山ユラックス熱海において、構成組織・地区連合から役員並びに若年層や女性組合員約160名が参加し催された。

冒頭、主催者あいさつとして連合福島青年女性委員会・伊藤昭子代表幹事は、『現在、女性雇用者の半数が非正規雇用で働いており、正社員で見ても、女性の賃金は男性の7割にとどまっていると言われている。また、結婚や出産を理由に5割もの女性が第1子出産を機に離職しており、現役世代の低賃金や不安定雇用は、高齢女性の貧困にもつながっている。



伊藤昭子代表幹事のあいさつ

私たちは、様々な機会を通じて、男女間賃金格差の是正を訴えてきたが、一昨年施行された女性活躍推進省令改正も機に、今こそその実現に向けて、社会全体で取り組むべきで



澤田精一会長のあいさつ

あると考える。そのけん引役となるのは、私たち労働組合である。性別、年齢、国籍、障がいの有無、就労形態などにかかわらず、多様な人たちの声に耳を傾け、すべての人が平等で差別されることのない社会の実現に向けて、青年女性委員会のこれまでの活動を見直し、取り巻く環境に合わせ、さらに運動を発展させていかなければならない。その為にも、新しくスタートを切った連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2を着実に取り組み、意思決定の場への女性の参画を進めていく必要がある。青年女性委員会としてもしっかりと意見をしながら、着実に取り組んでいく決意である』と挨拶した。

続いて、連合福島・澤田精一会長は、『連合福島は、10月24日に開催した第38回年次大会において、2025年度運動方針の補強を確認し、「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1の取り組みを点検し、「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2について、周知し計画に基づく取り組みをすすめることを決定した。

男女平等参画、ジェンダー平等の推進、均等待遇、ワークライフバランスに向けた取り組みをしっかりと進めていきたい。またこれらの環境を整えていくのが、リーダー、トップリーダーの役割であることを認識し、情報発信、環境整備に進めていく』と挨拶した。

その後、連合 総合政策推進局 ジェンダー平等・多様性推進局長の菅村裕子氏より、「2025 春季生活闘争におけるジェンダー平等・多様性の推進」と題し御講演頂いた。参加者からは、改正法の概要を理解すると同時にジェンダー平等に対する関心・理解がより深まったとの声があった。

参加者の皆様の理解・協力に感謝し、終了報告とする。



講師の菅村裕子ジェンダー平等
多様性推進局長